



勇姿

第25回宮崎県消防操法大会の小型ポンプの部に出場した第1部消防団。

団員の目は、標的に向けられ真剣そのもの。

大会では、一糸乱れぬ操作を展開して見事に優勝しました。

今月の内容

特集 食中毒を防ぐ	2~5
夏の夜空に大輪の花	6
ふるさとへの便り	7
いきいきさん	8
紙面国際交流コーナー	9
あっぱれ消防団	10
町の話	11~13
おしらせ	14

9月の納税 固定資産税 (2期)

詳しくは 役場税務課 52-1111

- ◎給与 平日(時給)2,000円 日祭日(時給)2,220円
- ◎募集人員 若干名
- ◎待遇 社会保険有
- ◎応募方法 履歴書・免許証写し 持参の上面談
- ◎問い合わせ 都城救急医療センター ☎39-11100

看護婦(士)・准看護婦(士)の募集について

おしらせ



10月は労働保険 適用促進月間です。労働省では、『労働保険 働くみんなの安心保険』を標語に今月を「労働保険適用促進月間」として定め、労働保険制度の周知・啓発に取り組んでおります。

労働保険とは 雇用保険と労災保険とを総称した言葉です。雇用保険は労働者(被保険者)が失業したとき、失業給付を支給して生活の安定を図り、再就職の促進に必要な援助を行い、また、失業の予防や雇用機会の増大、雇用構造の改善、労働者の能力の開発向上、労働者の福祉の増進を図り、さらに高齢者や育児をする労働者の雇用継続の支援を目的とした制度です。労働保険は強制保険です。労働保険は民間企業が運営し、希望者が任意に加入する生命保険や火災保険などと違って、政府が直接・管理・運営している強制保険です。

加入することとなっています。なお、パートタイム労働者も一定の要件を満たせば、雇用保険被保険者となります。労働保険の加入手続きは 加入の手続きは、最寄りのハローワーク(公共職業安定所)または労働基準監督署で行っていただきます。加入手続等の事務処理が煩わしいとお考えの事業主の方には、労働大臣が認可した事業主団体である労働保険事務組合や、社会保険労務士に事務処理を委託できる制度もありますので、利用されることをお勧めします。詳細につきましては、(都城公共職業安定所) ☎22-11745

秋の「行政相談週間」及び「行政相談所開設」のお知らせ

三股町では、次のとおり行政相談を開設し、行政についての相談を受け付けますので、お気軽においでください。相談は無料で、秘密は守られます。 ◎日時 10月7日(月) 午前10時~午後3時 ◎場所 町老人福祉センター ◎相談委員 細山田ヒサ子さん

まじしまぢだ

三股町の人口 平成8年9月1日現在

男	11,113人	出生	18人
女	12,280人	死亡	14人
計	23,393人	転入	106人
前月比	+41人	転出	69人
世帯数	8,199戸		(+12戸)

愛のご寄付 三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおり頂きました。故人のご冥福をお祈りいたし、誠にありがとうございます。平成8年8月1日から平成8年8月31日まで

寄付者	籍貫	故人名	地区	金額
松崎フヂ	夫	松能	大野	3万円
水瀧園スギ	夫	一	中米	2万円
森 育男	義母	藤下ミ	仲町	3万円
内之浦	明	ハルエ	都城市	5万円
赤池	邦男	ハルエ	山王原	5万円
有川忠男	妻	ノリ子	山王原	3万円
隈元クニ	勝義	今市	3万円	
萩原ユク	重則	大鷲	2万円	
上石スマ	重敬	大鷲	2万円	
加藤シミ	功	仲町	10万円	
酒井麗子	夫	義康	大鷲	2万円

# 特集 食中毒を防ぐ

## まちの給食は、いま！



2学期初めての給食（宮村小学校1年生の教室）

今年の夏、病原性大腸菌O（オー）157は猛威をふるい、国民を恐怖で震え上がらせた。

O（オー）157が話題になったのは、6月初め岡山県邑久町で発生した集団食中毒で、468人が症状を訴え、2人の幼い子供の命が奪われました。

その後、この菌による食中毒はとどまるところを知らず、秋田県と山梨県を除く45都道府県で患者が確認。その数は、全国で9、600人に達しました。

なかでも、大阪府堺市では、患者児童数6、300人以上、2人が死亡するという集団食中毒が発生。給食の食材が原因とみられており、全国的に「学校給食」の安全性が問われ始めました。

このため、給食を扱う自治体は、感染予防のため衛生管理面を中心に対策を講じています。

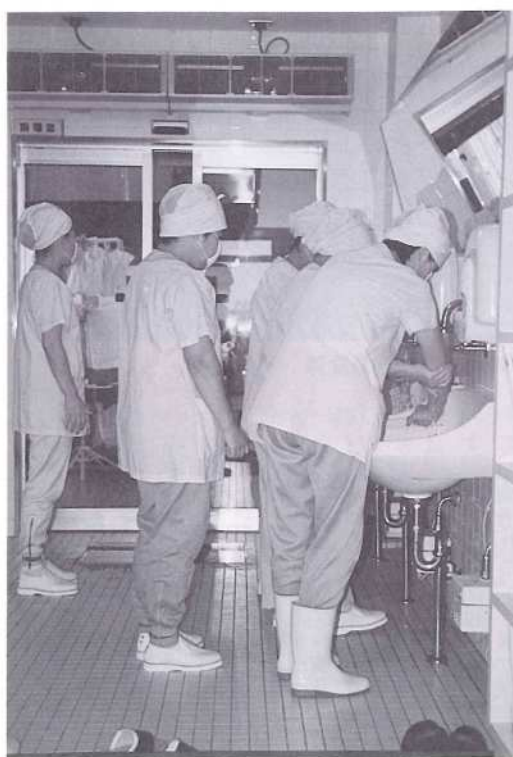
そこで、今月号は町の学校給食に焦点を当て、町給食センターの取り組みについて取材しました。

では、毎日3、300人分の給食が作られています。

### 衛生管理

町給食センターは、町、町議会、町教育委員会、各小中学校、各小中学校PTAで組織する町学校給食会で運営され、原田所長を含む16名の職員が働いています。給食献立は、1ヵ月分を2名の学校栄養士が作成して、各小中学校の先生の代表者で構成する「献立委員会」に提案。そこで、熱心に協議が行われ決定します。その献立に従い毎日の給食が作られているのです。

給食の食材の、約7割は加工品で、そのほとんどは宮崎市にある（財）宮崎県給食会から購入しており、残りの約3割を占める肉、野



▲調理場へ入る前の手洗いの様子

出来上がった料理は、各学校のクラスごとの容器に入れられ、食器などと一緒の専用のコンテナに一時保管。その料理を所長が検査のために試食した後、コンテナを積んだ2台のトラックはセンターから各小中学校へと出発します。センターを車が出発した後、正午までの間、残った調理員は調理用機器や器具を洗剤で洗浄して、雑菌の繁殖を防止するために熱湯に5分ほど浸し、乾燥させてから専用庫に保管します。

午後からは、2台のトラックで各小中学校へ向かいコンテナを回収。センターへ持ち込まれた容器や食器は、すぐに自動洗浄機を使ってきれいに洗浄して、セ氏85度の蒸気を発する収納庫に納めて約1時間の消毒を行います。

このように、1日の作業は食材の検査から調理、後片付けに至るまで衛生面に十分配慮して行っています。

### 夏休みの作業

年間約200日、延べ66万食の給食が作られるセンターの調理場には、たくさんの調理用機械や機材があります。それらの細かな部分の清掃は、毎年夏休みを利用して行われています。

今年も、作業計画に従って7月24日から始まりました。

### 給食のあゆみ

町内で学校給食が始まったのは、昭和25年頃。当時は、各小中学校に設けられた調理場でおかずだけが作られ、給食として出されていきました。ただ、現在のように栄養管理面に配慮したのではなく、必ずしも毎日作られていなかったようです。

昭和29年、第19国会で「学校給食法」が成立。以来、全国的に毎日供給される「完全給食」が広がり、町内の5つの小学校でも昭和30年頃から実施されました。そして、昭和34年に町内の小学校5校へ、昭和38年に中学校2校（三股中・三股東中）へミルクが配られるようになり、現在の給食の形がつけられました。

今日のような町内の小中学校の給食を一同に調理して配送するセ



▲三股町立学校給食センター



▲センター内の調理用機械

ンター方式が始まったのは、三股小学校の近くに「三股町給食センター」の施設が完成した昭和41年4月から。この時に、中学校でも完全給食が実施されました。

昭和51年4月、国内米の消費拡大を図ろうと、政府は米飯給食を学校給食制度に位置付けました。そのため、全国各地で米飯給食が取り入れられ、昭和52年4月、町においてもパンによる完全給食から週2回の米飯給食を実施。昭和58年からは1回増やして毎週月曜・水曜・金曜の3回を米飯としました。

平成3年4月、それまで使用していた給食センターの施設が老朽化したことや、児童数の増加に伴う調理の業務量が増えたことから、五本松団地の西側に約4億7千万円の予算を投じて新しい給食センターが完成。衛生面に配慮し最新鋭の機械を取り入れた調理場

(センターの一日の様子)



▲栄養士による食材の検査



▲給食を積んだトラックは学校へ向け出発



▲料理は学校ごとに分ける



▲給食の容器や食器の洗浄

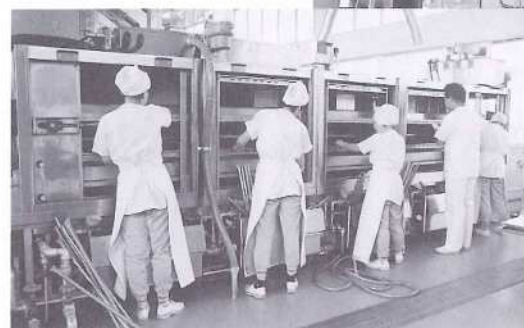
(夏休みのセンター清掃)



▶機械を分解しての洗浄作業



▲鍋のふた磨き



▲機械の中まで洗剤を使って清掃

▲大型換気扇は高い所での油汚れ拭き取りで危険な作業です。

衛生教育

センターでは、調理に携わる職員は2日かけて洗浄消毒します。きれいになったものは、半日かけて組立てます。

食器・食缶消毒庫は、大がかりなもので1日かけて分解、部品を2日かけて洗浄し、1日かけて組み立てます。

野菜を切断する調理用機械などは、2日かけて分解清掃します。このような調理場の全ての清掃作業は、8月の末まで続きました。

なかでも大変なのは、揚げ物・焼き物の専用機械と大型換気扇に付着した油汚れや焦げつきなどの清掃作業。機械の分解から始まり薬剤を使用した洗浄、高い所での清掃と危険をはらんだ重労働で、10日ほどの日数を要します。7月29日からこの作業は行われました。工具を使って分解して外された機械の部品は、一つ一つ丁寧に洗浄。ピカピカになった部品は、数時間かけて組み立てられます。大型換気扇は、はしごを使っての油汚れの拭き取り作業。付着した油は簡単に拭き取れないため、刺激の強いアルカリ性の薬剤を使用します。薬剤は厚手の布に十分染み込ませ、力を込めて拭き取っていきます。この薬剤は皮膚に直接つくとやけどをすることから、それに携わる職員はゴム手袋、腕カバーを着用。センター内の温度はセ氏30度を超え、むしろむよな暑さ。その中で、玉のよな汗を流しながら息を弾ませ拭き取っていきます。1日の作業が終わるころには、作業着は水に打たれたように濡れていました。

そのほかに、児童が使う食器類やお盆の洗浄と消毒。その一つ一つを自動洗浄機械によって洗った後、念入りにブラシを使って洗浄します。この作業は、10日ほどかけて行います。

食器自動洗浄機は、半日かけて

対策会議

町教育委員会では、8月20日、町学校給食センターで、町、議会、町教育委員会、学校関係者を集め「学校給食における食中毒防止対策会議」を開きました。

会議では、まず原田所長が全国で蔓延するO157による食中毒の現況について説明した後、センターにおける衛生対策の取組みについて報告。

引き続き栄養士から給食献立計画について説明がありました。センターでは、当分の間、給食に生野菜や果物を出さない考えを明らかにしました。

今後の対策としては、センター



▲対策会議では問題点などを検討

の施設改善、学校における児童の手洗いの徹底など衛生教育指導の強化、食材納入業者への衛生管理指導、各家庭へ衛生に関するチラシ配布などを申し合わせました。

給食について一言

町では、9月2日から給食が開始されました。小中学校の児童を持つ親は、給食についてどんな思いや考えを持っているのでしょうか。給食センターを見学したことのあるお母さんたちの声を聞いてみました。

不安は解消

隈元昌子さん

今回の集団食中毒によって、小中学生を持つ親の多くは学校給食の安全性に不安を抱いたと思います。私も一時は、町の給食は大丈夫?と思いました。しかし、昨年センターを見学していたので、その不安は解消されました。

子供たちの過剰な反応

高野きよ子さん

O157のことが、毎日のようにテレビや新聞などで取り上げられ、子供たちは給食に過剰な反応を示しているようです。夜、兄弟で「今日の給食の肉を食べた?」などの話し声が・・・。

そんなときには、「町の給食は安全で心配ないから残さずに全部食べなさい」と言っています。

加工食品に不安

福満三子さん

昨年センターを見学したとき、近代化された施設には驚きました。また、調理場への入り口は遮断され、衛生面でも充実していると感じました。ただ、O157の報道を機に、加工品の検査はどうなっているのか疑問を抱いています。

子供たちは、給食はおいしいよと言います。センターの皆さんの一生懸命な姿に感謝しています。安全でおいしい給食をこれからも提供してください。

最善の注意を  
払っています

町学校給食センター  
所長 原田一彦



町内の小中学校7校の児童が毎日口にする給食。センターでは子供たちが安心しておいしく食べてもらうよう日頃から食材の検査、調理、機材や施設の消毒にいたるまで最善の注意を払っています。

全国的に病原性大腸菌O157が蔓延したことで給食の安全性が問われ、職員一同気を引き締めて、今まで以上に衛生対策に努めているところです。

これからも安全で子供たちに喜ばれる給食づくりを心掛けていきます。

食中毒防止対策

9月から10月にかけても食中毒に要注意。各家庭で食中毒を防止するためには、食べ物に注意することはもちろん、日頃から手をきれいに洗うことを習慣づけたり、下痢や腹痛、発熱があったら早めに受診することが大切です。そこで、代表的な細菌と予防策を紹介します。

主な細菌	腸炎ピブリオ菌	ぶどう球菌	サルモネラ菌
主な原因食品	海産魚介類	手作りのおにぎり、おはぎ	肉、たまご、魚
細菌の性質	●海にすむ魚や貝などに付いて台所へ ●真水に弱い ●熱に弱い	●化膿した傷口、にきび、鼻、毛髪などにいる ●加熱しても壊れない毒素をつくる	●ネズミ、ゴキブリのほかイヌ、ネコ、小鳥など、ペットも汚染源に ●熱に弱い
予防のポイント	●魚介類は調理前に流水でよく洗う ●使ったまな板、包丁、ふきんなどを熱湯消毒する	●手や指に傷があるときは食品に直接触れない ●食品は冷蔵し、なるべく早く食べる	●肉類は十分に火を通し、たまごは必ず冷蔵する ●ネズミ、ゴキブリ、ハエなどを駆除する

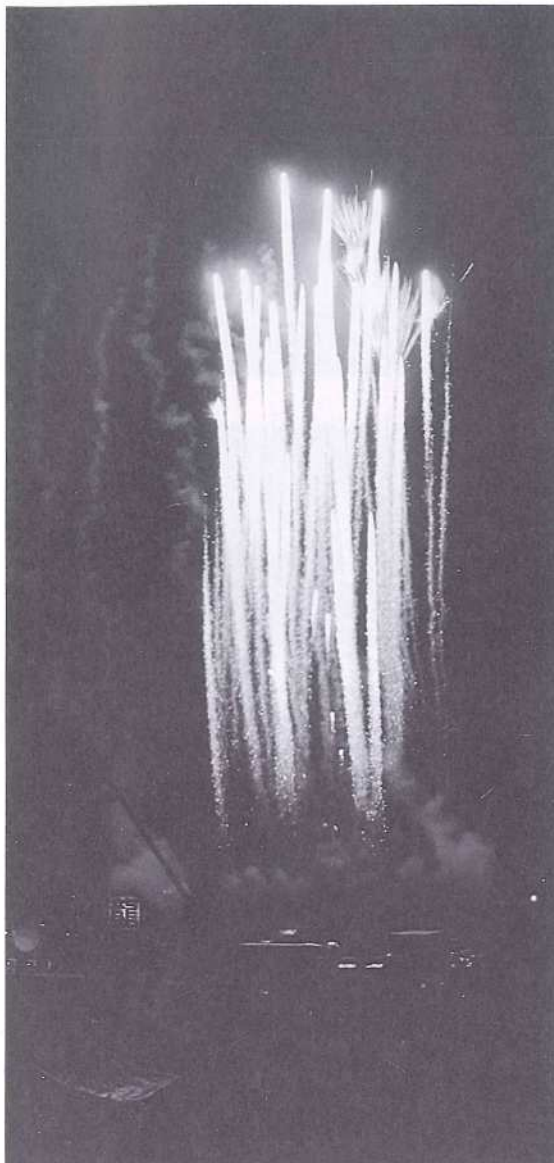
# 夏の夜空に大輪の花

## 「ザ・花火・昇龍in三股」開催

8月17日、三股橋上流河川敷で第1回目の花火大会「ザ・花火・昇龍in三股」が開催されました。この催しは、町商工会青年部が中心として組織された花火大会実行委員会が主催し、町と商工会、町観光協会などが後援、町内の商業関係者等が協賛しました。

当日は日中雨に見舞われ開催が危ぶまれましたが、天候は持ち直し午後6時30分「門松さおり歌謡ショー」で開幕。

会場は町内外から訪れた約5千人の観客で埋め尽くされ、商工会婦人部による「町民総踊り」、橋太鼓「響座」の演奏と続き、会場の雰囲気は最高潮に達しました。午後8時、司会者の合図で祭の名前でもある打ち上げ花火「昇龍」が大音響とともに夏の夜空に数発はなれ光輝く帯状の花火は交錯し、会場の雰囲気は一気に盛り上がりを見せました。



▲打ち上げ花火「昇龍」



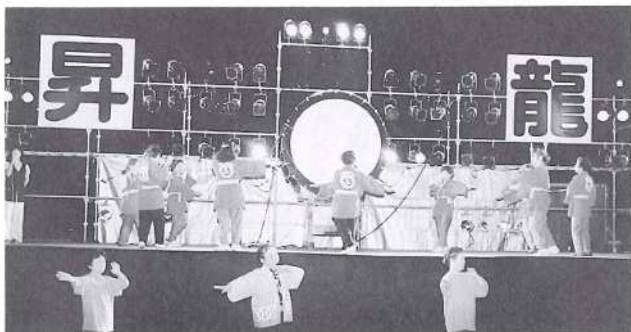
▲熱唱する門松さおり



▶仕掛け花火と打上げ花火



▲気迫あふれる太鼓の演奏



▲婦人部による「町民総踊り」

## ふるさとへの便り

### 立山和生 (44)

(梶山出身)



三股町の皆さん、お元気ですか。

私は昭和二十六年生まれ梶山出身の立山和生です。父重全は三年前に他界しましたが、教職を退職し三股町の郷土史家として教育委員会にもお世話になりました。妻は二十七年生まれ、下新出身の旧姓桑畑郁子で父鶴雄(他界)は三股町の収入役を務め、その後三股町の議員として三股町に奉職しました。

さて、今回広報みまた「ふるさとへの便り」の紙面に掲載される

ことに関し先ずもってお礼を申し上げます。今年の九月東海地区北諸都城会の集いがあり、このような会があることを初めて知り、この関係で「ふるさとへの便り」に登場した次第です。

ところで、私は昭和五十年の四月愛知県警察官を拝命し早二十年あまりが経過しました。約一年半の交番勤務を終え、念願の刑事警察の道に進んだのです。これまでに愛知県で最も忙しい第一線の警察署を三署勤務し、現在、金の鯨が輝く名古屋城を目前にする、愛知県警察本部捜査第三課盗犯情報センターに勤務しています。仕事内容は、愛知県下四十八署で毎日発生する窃盗事件につきその情報をまとめコンピュータに入録したり、全国の警察本部から主要の窃盗事件の情報を入手し、第一線の刑事に情報を伝える仕事であります。

最近目につくのが都城警察署の館内で発生している牟田町地内の連続スナック出店荒し事件とか都市都原と横市町地内の空き巣狙い事件が発生している事を知り関心を持ちました。警察官は、言うまでもなく国民の生命、身体、財

産を守るということで第一線の警察の中で刑事は最も注目を浴びる職場でもあり、これまで約十八年誇りを持って勤務してきました。反面、仕事柄人間の裏社会を知ったり、被害者の憤り、被疑者等の家族の聴取、昼夜の張り込み、それに死体の処理等厳しい体験もしています。

次に私の住んでいる町、家族、古里の思い出について申し上げます。私の住まいは名古屋から電車で約三分のところに位置する愛知県半田市です。昔から酒蔵の町、酢の町と知られ、ミツカン酢は全国ブランド品となつていますが、住まいは市内から少し離れた新興住宅に住んでいます。家族は妻、高校二年生の長女、中学二年生の長男の四大家族で子供二人は、バスケットボールで汗を流していますが、何よりの原動力は妻

の実家から毎月送られてくる三股の米と野菜を食べており、子供には何よりも楽しい三股の土産とっています。古里の思い出はたくさんあり過ぎて尽きませんが、梶山小学校のグラウンド横にあった正道館が一時保育園となり通ったこと、梶山小学校時代、長田小学校との駅伝対抗試合、はぎ塚山の遠足での宝探し、三股中学校時代、体育祭での棒体操、学年対抗駅伝大会、野球部の三年間等思い出はいっぱい忘れたいことはありません。

最後になりましたが、昭和二十六年生まれで中学時代の同級生は三五〇人余りと記憶していますが三股町に在住の同級生の皆さんも元気に活躍の事と思います。

ふるさととは、遠きにありて思うもの……

柳岳、沖水川、最後に高千穂を

### (お知らせ)

第13回在京者三股会の開催日決まる  
三股町出身者及びゆかりのある方の首都圏在住者による「在京者三股会」を左記のとおり開催いたします。

◎日時 10月26日(土)  
午後2時～  
◎場所 チサンホテル浜松町  
(モノレール線路沿い)

東京近郊にお住まいの方で、三股町出身者及びゆかりのある人はどなたでも参加できます。希望される方は、次のところまでご連絡をください。

- ◎森 昭博 0484-77-0350
- ◎石坂 募 0425-43-5421
- ◎荒武敬治 043-237-7725
- ◎児玉泰男 03-3692-4431
- ◎日高悦男 0462-45-3638
- ◎新森 修 0439-87-8051
- ◎佐沢明博 0424-23-6712

思い浮かべながらここにペンを置きます。三股町民の皆様何よりも事件、事故がない平和な町に発展することを願っています。

次号は、関東の方にリレーします。横浜にお住まいの田盛輝次さん(旧姓は別府)です。

### 知っていますか? 守っていますか?

宮崎の美しい自然や町並みを守るため「宮崎県屋外広告物条例」が定められています。

○「屋外広告物」とは、お店の看板や道路脇の広告塔や広告板など建物の外に表示されている広告物をいいます。

○屋外広告物を出すときは、原則として許可が必要です。

○景観を守るため、屋外広告物が出せない地域(禁止地域)があります。

屋外広告物は、街の風景です。私たちの街にすてきな風景をつくるため、屋外広告物はルールを守っていきましょう。詳しくは都城土木事務所へお問い合わせください。



臼井 ミツさん

下新にお住まいの臼井ミツさん(61)は、毎年「敬老の日」に町内の90歳以上の方全員に箱詰めした手作り洋菓子を贈っています。

父の姿に心うたれて

「今までやってこれたのは、家族の理解と協力によってできたこと。私一人だけではここまで続けられなかったでしょう。」



「当時、料理講師の免許を取得して自宅に教室を開設して3年が経過していました。そこで、料理の技術を活かさない手はないと思

夏休みの貴重な体験

36名の児童の記録

町と教育委員会は、21世紀を担う青少年の人材を育成しようと、平成3年から毎年夏休みを利用して、町内の小中学校の児童を県外へ派遣しています。



鹿児島新港から沖永良部島に向かうフェリーの中での連絡会。

今年も、小学校6年生31名、中学生5名の計36名の児童と引率の先生方4名が決まり、鹿児島県の南部に位置する沖永良部島で8月20日から25日までの5泊6日、地元の子供たちとの交流や自然の中での体験学習を行いました。

8月20日午後2時30分、バス2台に分乗した児童らは、父母に見送られ役場を出発。



8月21日、和泊町研修センターでの菓子づくり



8月24日、国頭小学校の子供たちとの交流で棒踊りを披露



8月24日、笠石海浜公園で黒砂糖作りに初挑戦

この夏、36名の児童は、沖永良部島の文化と自然を肌で感じました。また、地元の子供たちとの交流会では、楽しいひとときを味わいました。

紙面国際交流コーナー



ジェーソン・ウィリアムス

八月の後半頃はイギリスに帰って十日間滞在しました。そのことについてちょっと述べたいと思います。今、日本に戻ってきて三日。まだまだ時差ボケが続いています。もしおかしきことを書いていたら、それを口実として許してください。

五、六時間以上飛行機に乗れば、必ず時差ボケがでてきます。今回の帰国は、往復の切符代を安くするために、台北とバンコクとアムステルダムを経由するコースを利用したので、時差ボケがひどく、イギリスに帰国した時も、完全に治るのに一週間ぐらいかかりました。というところは、せめて一週間以上滞在しないと、疲れは回復しないので、心は晴れ晴れしません。だから、日本人が海外旅行をする場合、例えばヨーロッパの三、四か国を一週間で回る計画を立てることは、私にはとても考え

イギリスの感想

られないことです。もしこれを読む町民の皆さんのだれかが将来海外旅行をしようと考えていけば、できれば一週間以上の計画を立て、せいぜい一、二か所遊びに行くことをお勧めします。

ヨーロッパ人とアメリカ人は、イギリス人(特に年寄り)とイギリス国内で初めて会話すると、いつも天気のことを先に話すと言います。今度、帰国してそのことを実感しま

した。一般的に、イギリス人は日本人のように保守的な人が多く、相手が気楽に話せるように、よく天気のことを最初の話題にしているのだと言われます。だから、アメリカ人とヨーロッパ大陸の人が初対面の人にも親しく使う『お元気ですか』の言葉は、イギリスでは知らない人にとってはちょっと唐突な挨拶だと見られています。

それでは、イギリスでの天気のことについて話しましょう!空港に着き、飛行機から降りて最初に思ったのは寒いということでした。九州の湿度が多い夏の暑さに

すっかり慣れてしまったからでしょう。むこうにいる間、暑い日もありましたが、日差しが直接体に当たらない限り、寒いと感じました。友達私がセーターとズボンを着ている様子を見て「変わったやつだな」といいました。朝は早く起きて、ジョギングをしましたが、家から出ると寒さで吐く息が白く、三股の二、三月からこの季節を思い出しました。その上に雨も意外に降ったので、季節外れの天気でした。

ず変わっています。三股に在る間、イギリスの最新の情報をあまり聞かないので、今回帰国したとき初めて日本の事情を勉強した頃と同じように、イギリスのことを調べないといけないということを感じました。回りの人々の話す話題は分からないことがほとんどで、「ええ!知らない!」と多くの人から言われました。

話は変わりますが、もう一つビックリしたことがあります。それは、英語と日本語に関することです。日本で生活する国際交流員、特に都市と離れたところに住

んでいる国際交流員のほとんどは、母国語より日本語を話す機会が多いと感じます。私もその一人で、この一年間三股にいて、物事をじっくり話す場合でも相手は日本人なので日本語だけで話しかけてくれます。そのことは私にとっては、大変良いことだと思っています。ところが、今回帰国したときのことです。友人などと深く話し込んでいると会話の途中、私の英語のレベルが衰えてしまったのかと感じさせられました。特に日本国内だけでやっていて、他の国でやっていないことは英語で話しても分かってもらえず困りました。

例えば、二年ほど稽古した合気道のことは理解できない様子でした。合気道を稽古した期間のほとんどは日本の道場で過ごしていましたが、専門用語は英語ではなく日本語が頭に入っています。その上にこういう日本独特のことを説明してみても、びったり合う言葉がないという場合が多いです。

向こうで数日経ってから、気になったことがあります。それは会話している時、自分が話している途中で相手が口をささむことです。日本人と話している時には、めったに経験しないことだったので、これは英語とヨーロッパのいろんな国語で起こることだと思いました。もう少し考えてから、これは英語と日本語の文法の構造に

(三股小学校児童による交通安全標語)

- ◇急ぐ心が事故のもと 左右確認わずれずに (4の1 高畑 智徳)
◇「黄しんごう わたっちゃんえ」という気持ちで事故のもと (5の1 瀬戸山展子)
◇「止まるだろう」こんな気持ちが事故を呼ぶ! (6の2 石脇 佳奈)

Table with accident statistics: 今年町内で発生した交通事故(人身事故のみ), 平成8年7月31日現在, 発生 43件, 死者 0人, 負傷者 52人



リサイクルがんばります

8月9日、役場2階中会議室で、リサイクル回収指導推進員会議が開かれました。この日は、町内16箇所の資源ごみ回収場で仕分けの作業や指導を行う推進員16名に委嘱状が交付されました。推進員は、平成9年3月までの間、それぞれの地域で指導にあたります。

- ごみ分別指導員は次の方々（敬称略）
- |            |            |
|------------|------------|
| 野口 惣平（山王原） | 出水フミ子（山王原） |
| 大村三千子（山王原） | 清水 勝（仲 町）  |
| 堂領 善雄（谷）   | 小林 忠芳（小鷲巣） |
| 園木 末男（蓼池）  | 渡具知惟勝（三原）  |
| 佐沢 正治（上新）  | 野崎 裕美（東原）  |
| 上水 廣一（植木）  | 二宮 幸雄（下新）  |
| 川畑 馨（下新）   | 立山 基臣（花見原） |
| 今村 軍市（中原）  | 下沖 静雄（今市）  |

畜舎を花いっぱい

町では、牛や豚、鶏などを飼育する畜舎周辺の環境美化を図ろうと、昨年から数種類の花の種を町内の畜産農家に配布して栽培するようにと指導。その状況を審査するコンクールをこのほど行いました。この審査によって、8人が優秀と認められ、その表彰式を8月19日、町長室で行いました。受賞した農家は、「畜舎の周辺が花いっぱいになりました。四季折々の花を見るのは楽しみです」と話されました。

- 受賞者は、次の方々（敬称略）
- |              |           |
|--------------|-----------|
| 金賞 木下伊都子（中米） | 今井良男（今市）  |
| 銀賞 東 武安（今市）  | 嘉藤ヨシ（下新）  |
| 銅賞 大盛美智子（中米） | 和田博見（大鷲巣） |
| 福永健一（蓼池）     | 白尾伍紀（中米）  |
| 安田義英（田上）     |           |



「轟木新橋」に決まる  
名づけ親は、戸郷秀子さん

本紙5月号で募集しました轟木と牧野を結ぶために新設される町道の轟木川に架けられる橋の名称は、応募多数の中から厳正な審査の結果「轟木新橋」に決まりました。名づけ親になったのは、長田の戸郷秀子さん52。「私の住む長田の橋の名前が募集されていたので早速応募しました。採用されて大変うれしいです」と話されました。

町では、8月20日、町長室において山元町長から戸郷さんへ賞状と記念品を贈りました。なお、この橋は平成8年度中の完成を目指して現在工事が進められています。



▶指揮者の号令によって整列する  
団員



第25回消防操法大会は、9月11日、県内11支部の予選を勝ち抜いた精鋭32チームが参加して、県消防学校グラウンドで行われました。都城支部（1市5町）からは、ポンプ自動車の部に本町の機動本部、小型ポンプの部に第一部、小型ポンプ積載車の部に高城町消防団がそれぞれ出場しました。大会では、団員の規律や動作、機械操作、操作時間などが審査。

▶健闘した機動本部団員発水の様子



どのチームも日ごろ鍛えていたとあって優秀な操作が繰り広げられました。第一部は3番目に、機動本部は7番目に競技に入り、それぞれ支部の代表として恥じない操作を展開しました。中でも、第一部は、ホースの延長、機械操作、各個人の規律、動作、操作時間等いずれも最高の出来で、見事に優勝を飾りました。この結果、第一部は、来る10月



県大会優勝の第1部団員

16日に横浜市で開催される全国大会に県代表として出場することになりました。全国大会で活躍が期待されます。

選手は次の方々（敬称略）

指揮者 可児宇三郎
1番員 国分 至
2番員 吉留 正光
3番員 川野 浩
補助員 桑畑 政三

図書室  
新刊図書のお知らせ

だより  
104号

- | 書名             | 著者名        |
|----------------|------------|
| 〔一般向〕          |            |
| 夫とする在宅介護       | 松崎陽子       |
| この国のかたち五       | 司馬遼太郎      |
| 幸せの記憶上・下       | ダニエル・ステイール |
| かんにな           | 仁科克子       |
| 好き嫌い           | 山田邦子       |
| どんな時にも人生を      |            |
| 「前向き」に生きるコツ    | 斎藤茂太       |
| 生と死の隣合わせに      | 高橋悦史       |
| 雪堂             | 大沢在昌       |
| エゴからエヴァへ       | 船井幸雄       |
| 狂牛病パニック        | 石原洗一郎      |
| コドモ界の人         | 石坂 啓       |
| 心に残るとっておきの話三・四 | 潮文社編集部     |
| 檀              | 沢木耕太郎      |
| 〔小・中学校生向〕      |            |
| がんばくつ王         | デユマ        |
| 青い鳥            | メーテルリンク    |
| しあわせな王子        | ワイルド       |
| 子鹿物語           | ローリングス     |
| くるみわり人形        | ホフマン       |
| ガリバー旅行記        | スイフト       |
| 海外SFミステリー傑作選   |            |
| 全二十巻 ベリヤーエフほか  |            |
| ありがとを三つ        | 松野正子       |

10月の休館日（中央公民館図書室）

	日	月	火	水	木	金	土
①			1	2			
②		7	8		10		
③		14	15				
④	20		22				
⑤		28	29				

数字は休みの日。

- 〔幼児向〕
- |               |          |
|---------------|----------|
| きょうりゅうだ       | 木村裕一     |
| すずむしケンゴのうた    | 柴田晋吾     |
| おねしよの名人       | 山田 真     |
| 十一ぴきのねことぶた    | 馬場のぼる    |
| 十一ぴきのねことへんなねこ | 馬場のぼる    |
| 十一ぴきのねこふくろのなか | 馬場のぼる    |
| おりこうなアニカ      | エルサ・ベスコフ |
| どうさんまいご       | 五味太郎     |
- かんすりさんとふしぎな自転車  
こげよブランコもつと高く  
ゆうさえみ  
ゆうさえみ



## 長寿おめでとうございます

「敬老の日」を前に町では9月6日、99歳の白寿を迎えられた小牧紘さんに敬老年金10万円、88歳の米寿を迎えられた男性7名と女性21名に敬老年金3万円と記念写真を贈りました。

この日、山元町長は1軒1軒の家庭を訪問し、植木の坂本製茶がプレゼントしたお茶も添えて手渡し、「いつまでも元気で長生きしてください」と激励しました。

その他、長田で陶器を製造する(有)ミヤトーでは、町内の70歳、77歳、88歳、90歳以上の方に名前入りの湯飲みをプレゼント。この取組みは、5年前から行っているもので、今年600個ほどを作ってそれぞれ贈りました。

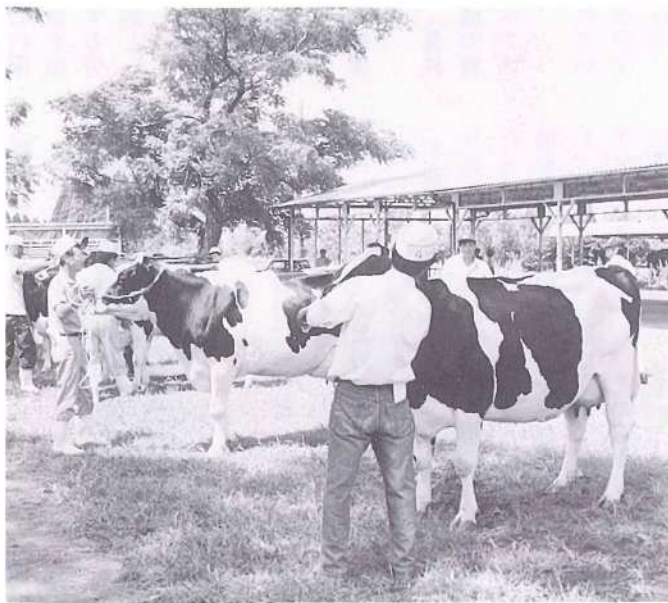


## 手塩にかけた乳牛の評価は？

9月3日、町畜産センターで今年初めての乳牛品評会が開かれました。

品評会は、年齢別に4部門で行われ、町内の酪農家22戸から48頭の乳牛が出品。酪連や農協の担当職員が発育状況、足腰の強さ、乳房などを審査し、順位がつけられました。

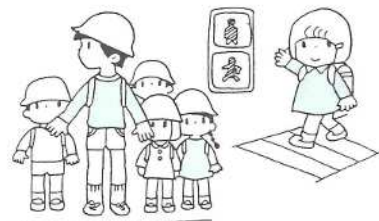
審査の結果、3つの部門でチャンピオンを谷の出水勉さんの出品牛が獲得、残りの1つの部門で谷の永橋勇さんの牛が獲得しました。各部門で上位3頭に選ばれた乳牛は、県品評会の予選である市郡品評会に出品されます。



## 朝の通学、これで安全

このほど、花見原の県道に押しボタン式信号が設置され、9月4日の早朝、その点灯式が行われました。

式典には、警察や交通安全関係者、三股西小学校の先生や児童、PTAなど約100名が参加。各関係者の挨拶の後、1年3組の林佑太君が信号機点滅を行いました。この道路は、小学生の通学コースで、朝の登校時には出勤などの車の往来が激しいことから、以前から要望があったもので、関係者からは「これで、交通事故の危険も少なくなるので安心です」との声も聞かれました。



## 道路をきれいに

8月23日、町内の建設・土木会社など61社による、蓼池・前目・勝岡地区の町道の清掃作業が行われました。この活動は、昨年からのボランティアで実施しているもので、今回で2回目。

この日は、真夏の太陽が照り付ける暑い1日でしたが、参加者はスコップを手に側溝に溜った泥の取り除きや道路沿いの草刈りを行い、ダンブで町の埋立て処分場に運びました。参加者はみな汗だくになりながら午後2時過ぎまで作業を行いました。

## ひまわり作業所にワゴン車

三股町通所福祉作業所「ひまわり作業所」に8月26日、(財)県社会福祉基金から9人乗りのワゴン車が寄贈されました。これは、昭和57年に創設されたふるさと愛の基金から県内の民間福祉活動の振興を図ろうと毎年行われているもので、今年予定されていた2つの福祉施設の中に選ばれたものです。

事業所では、これからの事業活動に大いに利用できる喜んでいました。



## 取り戻そう美しいまち

町ボランティア活動推進協議会並びに町社会福祉協議会では、9月8日、三股橋河川敷で「'96エコロジーボランティアinみまた」を開催しました。

この催しは、まちの環境をきれいにしようとして初めて開かれたもので、参加申し込みのあった団体や家族など約120名は、ごみの現状などを学習したあと、約1時間にわたり道路や河川敷に捨てられた空き缶やくずなどを拾いました。集められたごみの量に、参加者一同は驚きを隠さず「これから、ごみの減量化に努めよう」と心を新たにしていました。

## 長年のご苦労に感謝状

県警委嘱の都城地区少年補導員連絡会三股班(班長徳田堤ほか班員6名)は、このほど長年の功績が認められ、県警察学校において県連協議会長から感謝状が贈られました。

9月4日、この報告に補導員の皆さんが町長室を訪れました。

山元町長は、「青少年の健全な育成を図っていくうえで、補導員の果たす役割は大きく、私どもも期待しているところです。この表彰を契機に、これからも頑張ってください」と挨拶しました。

